

コブハクチョウの子育て

中田正弘

310-0032 水戸市元山町2-2-33-202

水戸市の千波湖では、今年もコブハクチョウの雛が産まれてきており、6月5日と27日に見に行ってきました。6月27日には4家族合計19羽の雛を見ることができました。

その中の一家族なのですが、6月5日に見たときには、図1のように雛が3羽でしたが、6月27日には図2のように雛が4羽に増えていました。この家族の父鳥の特徴は把握していますので、同じ家族を見ていると考えています。確かに6月5日に卵が1個ありましたので、4羽目はその卵が孵った可能性はあります。しかし、6月13日にこの家族を見た友人に教えてもらったのですが、そのときは雛が3羽でも4羽でもなく、なんと7羽に増えていました。

6月5日時点で卵は一つだけでしたし、その友人からもらった写真を見ると、雛の大きさはすべて同じくらいのため、後から孵化したとは思えません。

地元の人の話では、6月5日のあとで、この写真の家族とやはり雛のいる家族との間でテリトリー争いがあり、写真の家族が勝ったそうです。その結果、この写真の家族は争いに負けたもう一つの家族の雛をあわせて育て始めたとのことでした。

ハクチョウの間では、このように他の家族の雛を育てるということは、よくあることなのでしょうか？

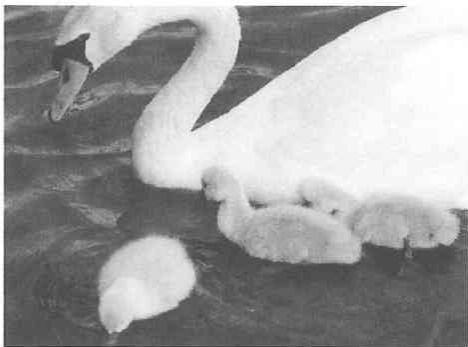


図1. 雛3羽のコブハクチョウ家族.



図2. 雛4羽のコブハクチョウ家族.

ちなみに写真の家族ですが、6月5日にはカラスから守るために 図3のように母鳥が

翼の下に雛を隠しており、その様子がとてもかわいらしかったです。



図3. 翼で雛を隠すコブハクチョウ。